

the history

ではなく

a history

【背景・課題・事例】

- 学習指導要領が変わってコンテンツベースから→コンピテンシーベースになっている
- 史料批判などは現実的には現場ではやっている時間がないというところが多い（生徒も疲れてしまう）
→専門家による知見や専門家との協働が必要

- 歴史総合の中で災害を扱う場合、
災害・防災自体をを学ぶわけではなく歴史的なものの見方を横断的に学ぶことに主眼があるため、
単元に即した見方・考え方をベースにした切り口・組み合わせの検討が重要

(e.g.)

- ✓ 都市化・大衆化・グローバル化 → 関東大震災
- ✓ 大項目A 歴史の扉 → 各地域の災害の歴史を扱う
→ (e.g.) 問い「石川県の災害にはどんなものがあったのか？」
→ 珠洲の民話（地震・津波）の活用

歴史総合 大項目A「歴史の扉」

A 歴史の扉 8433503100000000

<https://jp-cos.github.io/843/3503100000000#gsc.tab=0>

(1) 歴史と私たち

諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

8433503110000000

<https://jp-cos.github.io/843/3503110000000#gsc.tab=0>

MQ 石川県には過去どのような災害があったのだろうか？

最初にこれまでの災害年表などを提示する

<https://dl.ndl.go.jp/pid/9582108/1/54>

(関連情報)

「災害の少ない「金沢」だから残った珠玉の名建築の数々」

・週刊FRIDAY <https://friday.kodansha.co.jp/article/46380>

狙い：具体的に歴史資料を用いてこの言説を考え直す

グループ①・②・③に別個に資料を配布する

グループ① 地震資料

SQ：石川県の地震の頻度や被害の特徴を読み取ろう！
珠洲の民話資料（刊本）

グループ② 水害資料

SQ：水害の被害状況だけでなく、原因も調べてみよう！
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1462595/1/115>

グループ③ 雪害資料

SQ：雪害が増えてきている、理由はなんだろうか？

以上のグループ学習と意見交換を踏まえたうえで、

「災害の少ない石川」という言説はどのように捉え直すことができるだろうか？

（ある言説を検討する際に、歴史資料の分析が有効なことに気づかせる）